

看護学講座 育成期看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	波崎 由美子	2004. 4～
講師	嶋 雅代	2013. 4～
助教	内江 希	2016. 4～
助教	谷口 光代	2022. 7～2023. 8
講師	梅田 尚子	2023. 4
助教	畑 菜都希	2023. 4
助教	中沢 愛実	2023. 8

2. 研究概要

研究概要

本領域は次世代の健康・養育を担う女性と子どもに焦点を当て、次世代を産み育てる女性のライフステージすべてに関わる健康支援、母子の健康問題に関する研究を主な内容としている。また「ウィメンズヘルス」と「母性看護学・助産学」「小児看護学」の教育の質の向上と評価にも力を注いでいる。

具体的には科学研究費補助金を基盤に、若年がん患者、AYA世代がん患者に対する妊孕性支援看護モデル構築、生殖補助医療を受療する高齢女性のQOL工場に向けた関連探索研究、児への侵襲を最小限とする分娩助産法での母親と新生児の健康状態評価、妊産婦を取り巻くソーシャルサポーターへの支援の検討、医療的ケアの必要な子どもの親における災害への備えに向けた支援についての検討について研究を実施している。

キーワード

妊孕性支援、AYA世代がん患者、連携、協働、不妊症、生殖補助医療、妊娠期、体圧分散、寝心地、胎児娩出法、熟練助産師、分娩外傷予防、

業績年の進捗状況

波崎について、2023年度は、AYA世代女性がん患者の中でも、わが国の生殖可能年齢20～30代が好発年齢である子宮頸部がん患者への妊孕性意思決定支援に関する国内外の文献レビューについて、現在、論文を作成中である。また、妊孕性支援に取り組んでいる福井県内のがん領域と生殖領域の看護師の領域間の連携と協働の実態と課題を明らかにするべく、12月にヒアリングを実施する。さらに全国の施設のがん領域と生殖領域の看護師の領域間の連携と協働の実態と課題についてモデルを提示するべく、フィールドを調整中である。「生後3～4か月児をもつ母親の子どもへのスキンケア行動の実態と影響要因」については、調査を終え、102例のデータを分析中である。本結果は、2024年EAFONSで学会発表し論文を作成予定である。

嶋について、①ART受療中の40代女性を対象に、質問紙調査およびインタビュー調査を実施した。質問紙調査は最終的に105名のデータを分析し、抑うつと更年期様症状、不妊に関するQOLに関連があることを踏まえた支援のあり方について論文作成中である。②非妊娠女性15名による妊娠後期の妊婦を模した妊婦体験ジャケット着用・非着用時の臥床時の体圧分布図からデータを分析し、妊娠の経過に伴って体重や姿勢が変化する妊婦の身体的特徴を踏まえたマットレスの選択をすることが、適切な体圧分散において必要であることが示唆された。現在論文投稿中である。③助産学生にとって、自分の助産実践について動画を見返すことは学びになるという実感がある一方で、「できていない自分」に向き合わなければならず、苦痛に感じていることがわかった。動画での振り返り時の負担感を軽減して学習効果を上げるよう、ARを活用した教材の開発中である。

梅田について、2023年度は、出生体重と脂肪酸代謝との関連に関する論文内容を国内学会で発表するとともに情報収集を行っている。また、獲得した学内・学外の研究費を原資に、胎盤中の脂肪酸代謝と代謝に関わる酵素を定量化して、出生体重との関連を探索している。また、報告には至っていないが、研究分担者と分析方法や解析方法を検討中である。

内江について、若手研究で実施した結果について、2023ICM国際助産師連盟バリ島大会にてポスター発表した。さらに、テルモ看護研究助成金にて実施した結果を、第11回看護理工会学会学術集会にてポスター発表を行った。基盤研究（C）「熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR教材の開発」に関する研究では、分娩助産に関する初学者と熟練者を対象に、①モバイル型アイマークレコーダ（以下アイカメラ）を用いた視線計測を導入し、②分娩助産技術の「熟練知」を評価する習熟度指標を明らかにし、③熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR（Virtual Reality）教材の開発を目指す。現在は、アイカメラ（Tobiイグラス）を用いた視線計測について、使用装置の設定、計測項目、撮影方法、分析方法について具体的方法を工学部とともに検討した。今後は、熟練助産師と初学者の分娩助産における視線を計測し、比較分析する予定である。

畑について、浜松母子出生コホートデータを用いて、ASD発症に関与する可能性がある臍帯血中の可溶性エポキシド加水分解酵素（soluble epoxide hydrolase：以下、sEH）をELISA法にて定量している状況である。また、新たな褥瘡発生要因である皮膚温湿度（microclimate）に着目し、microclimateに考慮した体圧分散マットレスの選択基準を今後検討するために異なるマットレスの種類がmicroclimateと皮膚特性に与える影響を検討した。今回の研究で、microclimateによる褥瘡予防には、素材・構造に考慮したマットレス選択の必要性が示唆された。この研究成果を第25回日本褥瘡学会にて口演発表した。

中沢について、近年の文献では父親の産後うつについて報告されているが、父親への産後うつに関する支援についてはほとんど考慮されていないのが現状である。母親・父親の産後うつに関する研究計画を進めている。

特色等

母性看護学・助産学および小児看護学領域の教育・研究は、母親、子ども、女性、家族の視点で、それらを取り巻く人々のより良い健康、QOLを目指すことを目的に、国内だけでなくさまざまな国外にも研究成果を発表してきた。これらは本学の理念と一致するものである。

本学の理念との関係

波崎は、基盤研究（C）「日本のAYA世代女性がん患者の妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創生」に関する研究を実施している。がん治療の進歩と生殖医療技術の進歩と普及により、生殖可能年齢にある小児・AYA世代がん患者のがん治療後の妊孕性保持に対する支援が必要とされている。福井県の地域医療の特性に応じたがん領域と生殖領域の医師や看護師の連携と協働が不可欠であり、その支援体制の構築を目指すものである。本研究は、地域社会に貢献する実践的な研究にあたり、本研究成果により、AYA世代女性がん患者の性的健康とクオリティオブライフへの貢献が期待できる。また、「生後3～4か月児をもつ母親の子どもへのスキンケア行動の実態と影響要因」について、8施設で調査を実施を終了した。近年、乳幼児期の湿疹が幼児期の食物アレルギーや気管支ぜんそくの発症リスクを高めることが明らかとなっている。生後3～4か月までの乳児は、皮膚構造の不成熟に加えて生理的な皮脂分泌量の変化が激しいことから一般的に湿疹が発生しやすい。そこで、バリア機能の補正を目的とした洗浄と保湿によるスキンケアが着目されているが、生後3～4か月児の母親が子どもにどのようなスキンケア行動を行っているのかの実態は明らかでない。乳児期の発達段階に合わせた湿疹予防のためのスキンケア教育を検討し、本研究成果は、慢性的な経過をめぐり、人生の長きにわたり生活に影響を及ぼすアレルギー疾患発症予防の一助となる。

嶋は、①若手研究「後年女性に対する生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology：以下ART）終結後のQOL向上に向けた看護支援モデルの構築」について、研究期間を延長して進めている。研究目的は、生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology：以下ART）では、調整卵巣刺激のため高濃度のホルモン環境下におかれるが、これによる心身への影響について明らかになっていない。そのため、卵巣機能の低下が始まる年代であるART受療中の40歳以上の女性を対象に、メンタルヘルスと不妊に関するQOL、および探卵時の調整卵巣刺激による女性ホルモン血中濃度の落差に伴う更年期様症状それぞれの実態、およびこれらの関連について明らかにすることである。②妊娠に伴う身体的変化が最も大きくなる妊娠後期の妊婦において、臥床時の体圧分散、臥床体位、ベッドの頭部挙上角度と寝心地の関連について明らかにし、「妊婦にとっての寝心地のよさ」について検討すること目的とした研究を進めている妊娠の経過に伴って体重や姿勢が変化する「妊婦の臥床時の寝心地」についての示唆が得られることにより、臥床時に適度に体圧が分散し、容易に寝返り動作ができることで良質な睡眠を確保し、妊娠期のQOLを向上させ、健やかな周産期を過ごすことにつながるという意義がある。③助産学生を対象に、シミュレーション演習後のリフレクシオンによる学習効果について学生・教員双方の意見を集約して検討すること、より効果的な看護実践能力向上にむけた教育デザイン開発に向けた有益な資料となる。AR活用が看護教育に有効であることが実証できれば、現代の臨床現場に即した、実践能力向上につながる教育をすることができ、看護学生や臨床での初年次教育など、様々な場面で看護実践能力の向上、学習環境の改善なども期待できるという意義がある。

梅田は、子どもの成長・発達を規定する要因について探究している。近年では、出生体重と脂肪酸代謝に着目した研究では、臍帯血中の、リノール酸およびリノール酸由来Diol代謝物が多いほど児の出生体重が軽いことを発見し、英文論文を発表している（2022年度）現在は、体位盤中の脂肪酸代謝と出生体重との関連を探究している。低出生体重は乳児期の生存率低下や罹患率上昇、成人期以降の肥満や生活習慣病、統合失調症等の発症リスクで、さらに神経発達面での遅滞や学習障害、知的障害を持つ可能性が高くなり長期的には、生活の質にも影響する。その対策として、妊娠前から将来の妊娠のために、健康状態を改善させることを目指したプレコンセプションケアを提唱して低出生体重児の出生予防に取り組んでいる。一連の研究は、低出生体重の要因としての脂肪酸代謝に関する新たな知見となり、プレコンセプションケア介入方略につながる。

内江は、基盤研究（C）「熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR教材の開発」に関する研究を進めている。本研究では、分娩助産に関する初学者と熟練者を対象に、①モバイル型アイマークレコーダ（以下アイカメラ）を用いた視線計測を導入し、②分娩助産技術の「熟練知」を評価する習熟度指標を明らかにし、③熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR（Virtual Reality）教材の開発を目指す。この研究によって、経験の浅い助産師に熟練助産師の技を伝承でき、with/postコロナにおける教育システムとして、助産師の質の向上と、健康な母児の誕生に寄与できる。

畑は、研究活動スタート支援「臍帯血出生コホートによる可溶性エポキシド加水分解酵素と自閉症特性の相関解析」に関する研究を実施している。自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder：以下、ASD）は有病率は高まっているが、原因不明のために生物学的診療手段が確立していない。そこで、ASD発症に関与する可能性がある臍帯血中の可溶性エポキシド加水分解酵素（soluble epoxide hydrolase：以下、sEH）を定量し、出生児の発達との相関を検証することで、sEHがASDの早

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2017～2022年分	2023年分	2017～2022年分	2023年分
和文原著論文	ファーストオーサー	8	4	—	—
	コソブディンク・オーサー	1	0	6.055(6.055)	0(0)
英文論文	その他	0	0	0(0)	0(0)
	合計	0	2	0(0)	1.5(1.5)
		1	2	6.055(6.055)	1.5(1.5)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

23113007

Noriyoshi Usui, Miyuki Doi, Stefano Berto, Kiwamu Matsuoka, Rio Ishida, Koichiro Irie, Nanako Nakama, Hana Miyauchi, Yuuki Fujiwara, Takahira Yamauchi, Takaharu Hirai, Michihiro Toritsuka, Min-Jue Xie, Yoshinori Kayashima, Naoko Umeda, Keiko Iwata, Kazuki Okumura, Taeko Harada, Takeshi Yoshimura, Taiichi Katayama, Masatsugu Tsujii, Hideo Matsuzaki, Manabu Makinodan, Shizaki Shimada: Openness deficiency is associated with impairment in social behavior and social recognition in mice. *Neuroscience Letters*, 2023, 106109, 20230720, DOI: 10.1016/j.neulet.2023.106109, #1.5

23113008

Miku Aoki, Natsuki Hata, Junko Yotsuya: Effectiveness of Three Types of Moisturizers on Senile Dry Skin: A Randomized Controlled Pilot Trial, *Dermatology Research and Practice*, 2023, 1809109, 20230720, DOI: 10.1155/2023/1809109, #1.5

- b. 原著論文（審査無）
- c. 原著論文（総説）
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

23113009

牧野富美枝, 長谷川智子, 梅田尚子: 糖尿病患者に携わる看護師のアドバンス・ケア・プランニングにおける行動意図と影響要因の明確化, *臨床倫理*, 12, 5-14, 202403, DOI: doi.org/10.34329/jce.12.0_5

23113010

宮嶋仁美, 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: 精神科救急合併症病棟における褥瘡の形態的特徴と発生状況, *日本褥瘡学会誌*, 26(1), 30-39, 202402

23113011

端千づる, 村田美穂, 堀拓也, 畑菜都希, 岡本智子, 青木未来, 四谷淳子: グループホームの食支援に対する介護職員の思いと行動の変化～ミューチュアルアクションリサーチの手法を用いた取り組み～, *日本摂食嚥下リハ学会誌*, 27(1), 61-68, 202304, DOI: 10.32136/jsdr.27.1_61

23113012

端千づる, 村田美穂, 堀拓也, 畑菜都希, 岡本智子, 青木未来, 四谷淳子: グループホームの食支援に対する介護職員の思いと行動の変化～ミューチュアルアクションリサーチの手法を用いた取り組み～, *日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌*, 27(1), 61-68, 202304, DOI: 10.32136/jsdr.27.1_61

- b. 原著論文（審査無）
- c. 総説
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）

23113013

IIDA Yukiko, NAMIZAKI Yumiko, SHIMA Masayo, UCHIE Nozomi, NAKAZAWA Ami: Actual State of Maternal Skincare Behavior for Infants at 4 Months of Age., 27th East Asian Fourm of Nursing Scholars, Hong Kong, 20240306

23113014

Uchie Nozomi, Hiromi Mitasaki, Etsuko Kamisawa: Evaluation of the health status of mothers and infants with different delivery assistance methods in supine position delivery, 33nd ICM Virtual Triennial Congress, 20230613

23113015

IIDA Yukiko, NAMIZAKI Yumiko, SHIMA Masayo, UCHIE Nozomi, NAKAZAWA Manami: Actual State of Maternal Skincare Behavior for Infants at 4 Months of Age., 27th East Asian Fourm of Nursing Scholars, 20240306

- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

23113016

臍帯血中エポキシドヒドロラーゼ活性の自閉スペクトラム症障がい特性への影響, 第50回日本脳科学会, 20231204

23113017

梅田尚子, 平井孝治, 松崎秀夫: 新生児臍帯血中のリノール酸とリノール酸ジオールは出生体重に影響する, 第64回日本児童青年精神医学会総会, 20231114

c. 一般講演（口演）

23113018

鈴木美穂, 嶋雅代, 波崎由美子: 妊娠初期の30代妊婦に対するBreast Awareness教育の効果一並行群間比較試験一, 第37回日本助産学会学術集会, 社会の変化に呼応する助産ケアの創出と実装, 東京都中央区, 20231009, 第37回日本助産学会学術集会抄録集, 20230911

業績一覧

- 23113019** 平井孝治, 梅田尚子, 土屋賢治, 西村倫子, 松崎秀夫: 自閉症特性を予測する臍帯血中の多価不飽和脂肪酸代謝物, 第11回 日本DoHAD学会学術集会, 20220805
- 23113020** 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: 体圧分散マットレスの違いによるMicroclimateと皮膚生理機能との関係, 第25回日本褥瘡学会学術集会, 20230901
- 23113021** Natsuki Hata: Correlation Analysis of Soluble Epoxide Hydrolase in Cord Blood and Postnatal Autism Spectrum Disorder Characteristics – Interim report –, 第5回国際シンポジウム“CRNACDD 2024”, 20240126
- 23113022** Natsuki Hata, Miku Aoki, Junko Yotsuya: Influence of epidermal microclimate and support surface on skin maceration factors, 第32回 日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会, 20230708
- 23113023** 梅田尚子, 平井孝治, 土屋賢治, 松崎秀夫: 新生児臍帯血中のリノール酸とリノール酸ジオールは出生体重に影響する, 第11回 日本DoHAD学会学術集会, 20220806
- 23113024** Haruka Morotomi, Yurina Wada, Masayuki Fujiwara, Takahiro Koga, Ryunosuke Matsuo, Mana Ariyoshi, Nozomi Uchie, Mitsuyo Taniguchi, Yumiko Namizaki, Masayo Shima, Kaisei Wada, Junko Yotsuya, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma: A System Design of the Nursing Scene Analyzer to Track Items of Interest with a Function of the Human's Correction, 29th International Symposium on Artificial Life and Robotics, 20230125
- 23113025** Nozomi Uchie, Mitsuyo Taniguchi, Yumiko Namizaki, Masayo Shima, Kaisei Wada, Yurina Wada, Haruka Morotomi, Takahiro Koga, Mana Ariyoshi, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma, Junko Yotsuya: An Eye-Tracker Analysis of Viewpoint Differences between Experts and Novices in the Birthing Assistance, 29th International Symposium on Artificial Life and Robotics, 20230125
- 23113026** 新生児臍帯血中のリノール酸とリノール酸ジオールは出生体重に影響する, 第11回 日本DoHAD学会学術集会, 20230806

d. 一般講演 (ポスター)

- 23113027** Uchie Nozomi, Hiromi Mitasaki, Etsuko Kamisawa: Evaluation of the health status of mothers and infants with different birth assistance methods in supine position birth, 33rd ICM Triennial Congress, 20230613
- 23113028** 平井孝治, 梅田尚子, 西村倫子, 松崎秀夫: 自閉スペクトラム症の障がい特性を予測する臍帯血中の多価不飽和脂肪酸代謝物, 第64回日本児童青年精神医学会総会, 20231114
- 23113029** 加納恭子, 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: マイクロクライメット対応高機能エアマットレスにおける温度・湿度の評価, 第25回日本褥瘡学会学術集会, 20230901
- 23113030** 宮嶋仁美, 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: 精神科救急合併所病棟における褥瘡の形態的特徴と発生状況, 第25回日本褥瘡学会学術集会, 20230901
- 23113031** 内江希, 谷口光代, 波崎由美子, 嶋雅代, 四谷淳子: 熟練助産師と初学者の分娩介助技術における視線についての比較, 第11回看護理工学会学術集会, 20230610
- 23113032** IIDA Yukiko, NAMIZAKI Yumiko, SHIMA Masayo, UCHIE Nozomi, Nakazwa Ami: Actual State of Maternal Skincare Behavior for Infants at 4 Months of Age, The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 20240306
- 23113033** Uchie Nozomi, Hiromi Mitasaki, Etsuko Kamisawa: Key Factors of Midwifery Care as Adopted by Expert Midwives in Japan, The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 20240306
- 23113034** Hiromi Mitasaki, Nozomi Uchie, Etsuko Kamisawa: Child-Rearing Support using Intergenerational Interaction without Blood Relationship, The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 20240306

e. 一般講演

f. その他

- 23113035** 波崎 由美子: 多様な社会に求められる生殖看護 未来をつなぐ力, 第21回日本生殖看護学会学術集会, 多様な社会に求められる生殖看護—未来への挑戦と創造—, 福井市, 20230903, 第21回日本生殖看護学会学術集会 プログラム・講演集, 16, 202308
- 23113036** 四谷淳子, 嶋雅代, 内江希, 高村理絵子, 飯田悠希子, 岡本智子, 青木未来: 妊娠後期の妊婦における体圧分散マットレス使用基準の検討, 第26回日本褥瘡学会学術集会, 20220828

(3) 国内学会 (地方レベル)

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演 (口演)
- d. 一般講演 (ポスター)
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演 (口演)
- d. 一般講演 (ポスター)
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	AYA世代女性がん患者妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤 悦子, 内江 希	20230401-20260331	¥2,080,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	日本のAYA世代女性がん患者の妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	研究活動スタート支援	臍帯血出生コホートによる可溶性エボキシド加水分解酵素と自閉症特性の相関解析	畑 菜都希		20230831-20250331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	高年女性に対するART終結後のQOL向上に向けた看護支援モデルの	嶋 雅代		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	生殖補助医療による女性ホルモン変動差に伴う健康状態とヘルスリテラシーの関連	嶋 雅代		20220401-20260331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	日本のAYA世代女性がん患者の妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	離島で出産する夫婦のエンパワメントを高める健康教育プログラムの開発	谷口 光代	上澤 悦子	20220401-20250331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	高年女性に対するART終結後のQOL向上に向けた看護支援モデルの	嶋 雅代		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	AYA世代女性がん患者妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤 悦子, 内江 希	20230401-20260331	¥2,080,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR教材の開発	内江 希	三反崎 宏美, 上澤 悦子, 四谷 淳子, 嶋 雅代, 波崎 由美子	20220401-20260331	¥520,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	生殖補助医療による女性ホルモン変動差に伴う健康状態とヘルスリテラシーの関連	嶋 雅代		20220401-20260331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	離島で出産する夫婦のエンパワメントを高める健康教育プログラムの開発	谷口 光代	上澤 悦子	20220401-20250331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	研究活動スタート支援	臍帯血出生コホートによる可溶性エボキシド加水分解酵素と自閉症特性の相関解析	畑 菜都希		20230831-20250331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR教材の開発	内江 希	三反崎 宏美, 上澤 悦子, 四谷 淳子, 嶋 雅代, 波崎 由美子	20220401-20260331	¥520,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 營子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 營子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第21回日本生殖看護学会学術集会	20230902-20230903	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本家族看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本ウーマンズヘルス学会	一般会員	波崎 由美子
日本助産師会	一般会員	波崎 由美子
日本母性看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本看護科学学会	一般会員	波崎 由美子
日本助産学会	一般会員	波崎 由美子
福井県母性衛生学会	一般会員	嶋 雅代
日本母性衛生学会	一般会員	嶋 雅代
日本母性看護学会	一般会員	嶋 雅代
日本不妊カウンセリング学会	一般会員	嶋 雅代
日本災害看護学会	一般会員	嶋 雅代
日本生殖看護学会	一般会員	嶋 雅代
福井県母性衛生学会	一般会員	内江 希
日本母性衛生学会	一般会員	中沢 愛実
日本助産学会	一般会員	嶋 雅代
日本助産学会	一般会員	中沢 愛実
日本助産学会	一般会員	内江 希
日本母性衛生学会	一般会員	内江 希
日本災害看護学会	一般会員	高村 理絵子
日本小児看護学会	一般会員	高村 理絵子
福井県小児保健協会	一般会員	高村 理絵子
日本看護技術学会	一般会員	高村 理絵子
日本小児臨床アレルギー学会	一般会員	飯田 悠希子
福井県小児保健協会	一般会員	飯田 悠希子
日本創傷・オストミー・失禁管理学会	一般会員	畑 菜都希
日本児童青年精神医学会	一般会員	畑 菜都希
日本看護科学学会	一般会員	畑 菜都希
日本脳科学学会	一般会員	畑 菜都希
日本褥瘡学会	一般会員	嶋 雅代
日本褥瘡学会	一般会員	嶋 雅代
日本生殖看護学会	一般会員	内江 希
日本褥瘡学会	一般会員	畑 菜都希
日本小児看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本がん看護学会	一般会員	梅田 尚子
日本看護研究学会	一般会員	梅田 尚子
日本DOHAD学会	一般会員	畑 菜都希
日本看護科学学会	一般会員	梅田 尚子
日本看護診断学会	一般会員	梅田 尚子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	梅田 尚子
日本創傷治療学会	一般会員	畑 菜都希
日本脳科学学会	一般会員	梅田尚子
日本DOHAD学会	一般会員	梅田尚子
日本児童青年精神医学会	一般会員	梅田尚子
日本エンドオブライフケア学会	一般会員	梅田尚子
日本看護学教育学会	一般会員	梅田 尚子
日本生殖看護学会	一般会員	
福井県小児保健協会	一般会員	
福井県母性衛生学会	理事	波崎 由美子
日本母性衛生学会	代議員	波崎 由美子

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等	第21回日本生殖看護学会学術集会	
一般講演(口演)	第36回福井県母性衛生学会学術集会	波崎 由美子
一般講演(口演)	第64回日本母性衛生学会学術集会	波崎 由美子
招待・特別講演等	第21回日本生殖看護学会学術集会	波崎 由美子
一般講演(口演)	第36回福井県母性衛生学会学術集会	波崎 由美子
一般講演(口演)	第64回日本母性衛生学会学術集会	波崎 由美子
招待・特別講演等	第21回日本生殖看護学会学術集会	波崎 由美子

(D) 学術雑誌等の編集

業績一覧

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員 の別	氏名	査読編数
第64回日本生殖看護学会学術集会	査読	委員	波崎 由美子	6
母性衛生	査読	委員	波崎 由美子	1
日本生殖看護学会誌	査読	委員	波崎 由美子	1
日本生殖看護学会誌	査読	委員	嶋 雅代	0
第64回日本母性衛生学会学術集会	査読	委員	波崎 由美子	6
日本生殖看護学会誌	査読	委員	波崎 由美子	1
日本母性衛生学会誌	査読	委員	波崎 由美子	1
日本生殖看護学会誌	査読	委員	嶋 雅代	0

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項